

放送日
担当者

令和5年11月1日（水）

エコミュージアムセンター 小杉 宇美

おはようございます。教育部エコミュージアムセンターで学芸員をしております、小杉宇海と申します。

北広島市職員となって、早7か月が経過しました。学芸員としては、前職から数えると4年目になりますが、北広市民としてはまだ新米、市の歴史や文化、自然の知識を一日でも早く習得し、皆様にお伝えできるように日々奮闘中です。

学芸員という仕事は、博物館活動に関わること全般を担う何でも屋さんの側面があります。展示一つを作るとしても、テーマを決め、それに沿った資料を選び、解説パネルを作成するといった頭を使う業務、加えて会場の設営のために壁やケースを移動させ、時には熊のはく製や大きな農機具などを運んだり、作ったパネルを金づちで壁に打ち込み、資料やパネルが見やすいように脚立に上って照明の位置を調整して取り付けるといった肉体労働も全て自分たちで行います。学芸員は机に向かって研究しているイメージが強いかもしれませんが、意外と体力が必要な仕事です。

地域博物館で働く学芸員として、市民の皆様に喜んでもらえる展示やイベント、市内外の方が北広島市に興味を抱き、面白いと思っただけの情報発信できるよう、今後も努力を続けたいと思います。皆様もぜひ、エコミュージアムセンター知新の駅に足をお運びください。お待ちしております。

放送日 令和5年11月6日(月)
担当者 経営管理課 河合 嶺

おはようございます。水道部経営管理課の河合嶺です。

昨日まで、プロ野球の日本シリーズが行われていましたが、セ・リーグの優勝チームとして出場し、日本一を成し遂げた阪神タイガースの岡田彰布監督が、シーズン中によく口にしていた言葉があります。それは、「普通にやる」という言葉です。どんな場面でも当たり前のことを当たり前にする、普段通りやることで浮足立たずに本来の力が発揮できる、という勝負の世界ではよく聞く考え方ですが、これはどんな仕事を行っていく上でも非常に大切なことだと考えています。

例えば、災害などが起きた際には、気が動転して思うように動けなくなりがちですが、市職員としての自覚を持ち、訓練通りに、普段通りに行動することで、的確な判断や迅速な対応が可能になると思います。

また、日々の生活においても、仕事が行き詰まり忙しくなると心の余裕が無くなって、些細なことでも落ち込んだり、イライラしたりすることがあります。私自身も最近予算の関係で忙しくなり、細かなミスが増え、今まで通りのペースで業務が行えなくなりつつあります。ですが、こんな時こそ「普通にやる」ということを忘れず、普段通りに自分らしく明るく元気に過ごしていきたいです。

それでは、今日も一日頑張りましょう。

放送日 **令和5年11月8日（水）**
担当者 **下水道課 石谷 達也**

おはようございます。水道部下水道課の石谷達也です。

突然ですが、皆さんは下水道のことをどれだけ知っていますか。

私は今年4月に土木技術職として入庁しましたが、下水道についての知識はほとんどなく、入庁当初は不安でいっぱいでした。ですが先輩職員の皆さんの優しく正確なご指導のおかげで、徐々にではありませんが知識がついてきたように感じます。

下水道課では下水道工事の設計・監督や、下水道施設の維持管理などを行っています。下水道はほとんど日常生活で目にするものがない、地下に埋設されることの多い地味な施設です。

私も入庁するまでは下水道に興味を持ったこともありませんでしたが、業務に取り組む中でその重要さを知りました。下水道が整備されていなければ街は悪臭を放ち、疫病が蔓延します。また大雨が降れば雨水が流れていかず、街は瞬く間に冠水してしまいます。下水道は、これらの問題を防ぐための重要な施設です。今後は、そのような施設の設計・維持管理をしていく立場を自覚し、誇りをもって業務に取り組みます。また、常に情報の根拠を意識し、市民の皆様や他の職員に信頼される職員を目指していきます。

私は4月に入庁してから、初めての社会人生活、初めての一人暮らしをしています。いまだ不安の絶えない日々を送っていますが、周りの皆さんに支えられながら、これからも精進していきたいと思えます。

放送日 令和5年11月13日(月)
担当者 社会教育課 宮本 歩侑

おはようございます。社会教育課の宮本歩侑です。

まず庁舎を毎日綺麗にお掃除してくださっている清掃員の皆様、いつも朝早くからありがとうございます。

私は社会教育課のスポーツ担当として学校開放事業やスポーツ大会助成金の交付、各種イベントの準備・運営など、幅広く業務を行なっています。イベント事業が多く、全員で一つの事業に取り組む機会のある社会教育課だからこそできる貴重な経験をさせていただき、人一倍思い出が多く、濃い一年目を過ごしてきたように感じます。

入庁前のイメージとは異なる力仕事やアクティブな業務も多く、大変なこともあります。何をしても楽しいと思わせてくれるのが社会教育課のメンバーです。

いつも優しく丁寧なご指導をしてくださる課長をはじめ、誰より近くで見守り1番の味方でいてくださる心強い先輩方、妹のように可愛がってくださる温かい皆様がいるから、どんなことでも頑張ろうと思えます。

当たり前ではないこの恵まれた環境で、尊敬できる大好きな先輩方と働くことができ、私は本当に幸せ者です。多くを学べる環境にある今、先輩方から一つでも多くのことを吸収し、日々の学びを大切に過ごしていきます。

また、市民の皆様は勿論、業務で関わる全ての人との繋がりを大切に、信頼していただける職員を目指して取り組みます。

そして、私が学んだことは、しっかりと職務に活かすことで市民の皆様へと、そしてまちづくりへと還元していきます。

放送日 令和5年11月15日(水)

担当者 エコミュージアムセンター 吉村 くるみ

おはようございます。今年度の4月から教育部エコミュージアムセンターで学芸員をしております、吉村くるみと申します。入庁してから半年以上が経ち、今日はその中でも特に印象深い業務となった「市民ジュニア研修交流事業」についてお話ししたいと思います。

皆さんも様々なところで耳にいただいていることかと思いますが、今年には中山久蔵が明治6年に米作りに成功してから150周年となる節目の年です。それを記念し、エコミュージアムセンターでは多くの記念事業を実施しています。「市民ジュニア研修交流事業」もその一つで、7月28日からの三日間、西部小中学生の五名とともに久蔵の生まれ故郷である大阪府太子町を訪れ、久蔵ゆかりの地の見学などを行いました。私はその主担当として子どもたちを引率したのですが、引率はもちろん飛行機出張すら初めての経験で、ドキドキしながら子どもたちと空港に向かったのを覚えています。当時の大阪は最高気温37度という猛暑でしたが、暑さの中でも熱心に見学や質問をする子どもたちの姿に大きな刺激をもらいました。私自身も、事前の太子町役場との調整や現地での金銭管理、子どもたちへの声掛けなど初めて尽くしの三日間でしたが、すべての行程を終え無事に北海道に帰ってきたときには、子どもたちとともに少し大きくなって戻ってこられたような気がしています。この貴重な経験を糧に、今後も様々な業務に挑戦していきたいと思っています。

放送日 令和5年11月20日(月)
担当者 商工業振興課 國司 結衣

おはようございます。商工業振興課の國司結衣です。市役所に入庁し約8か月が経過しましたが、周りの方々に支えられながら、日々楽しく働いています。

さて、商工業振興課では、あるスローガンを掲げて業務に励んでいます。そのスローガンとは、「地域とつながる、企業とつながる」です。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベントが中止となるなど、市民や事業者の方と近く接することができない期間が続いていましたが、今年に入り、少しずつ元の活動ができるようになってきました。

そこで今年度は、スローガンを達成するため、年間100社を目標とした企業訪問や、市内の商工業者をPRするイベント「きたひろ商工魅力発信展」の開催など、地域と繋がるための事業を実施しています。

「百聞は一見に如かず」と言いますが、現地を訪問して得られる情報は、メールや電話によるコミュニケーションよりもはるかに多く、対話することで事業者の方との距離も縮まるように感じています。

そのため、私はプライベートでも、市内のイベントに積極的に参加したり、市内の店舗で買い物をするよう努めています。

今後もこの気持ちを忘れず、市内の色々なところに足を運んで、目で見て学ぶことを心がけていきたいと思っています。

放送日 令和5年11月22日(水)
担当者 学校給食センター 佐々木 晟多

おはようございます。教育部学校給食センターの佐々木晟多です。
4月に入庁し、早くも8か月を迎えようとしています。新社会人として多くの不安を抱えていましたが、少しずつ適応できているように感じます。それも全て、上司や先輩方のサポートがあるおかげです。ありがとうございます。

さて、現在私は、主に学校給食費の管理を担当しております。普段の業務を行う中で、給食費に関するお問い合わせをいただくことが多くあります。しかし、給食センターには窓口がないため、対応は電話対応がメインになるのですが、電話対応は窓口対応と違い、その場で書類等を目視で確認することができませんし、相手の様子を伺うのは困難なため、何を知りたいのかを理解し、それに対し簡潔に、素早く回答できるよう心がけております。

他にも、日々の修繕対応や簡易的な修繕は私達でおこなったり、時には急遽野菜の皮を剥くことになったり、予想のできない刺激的な毎日を過ごしております。

その毎日が楽しく感じ、日々様々な経験を積んでいくことで成長していきたい、その気持ちを忘れずにこれからも業務に取り組んで行きます。

最後になりますが、新時代を築いていく北広島市の一員になれたことに誇りを持ち、北広島市の名に恥じない職員になれるよう、日々前進していきたいです。